



1. マーケット・レート

			1月31日	2月1日	2月4日	2月5日	2月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.6470	3.6570	3.6670	3.6670	3.7010	+0.0340
	BRL/JPY	Spot	29.850	29.930	29.98	30.00	29.71	-0.29
	EUR/USD	Spot	1.1442	1.1460	1.1432	1.1411	1.1364	-0.0047
	USD/JPY	Spot	108.87	109.49	109.91	109.97	109.95	-0.02
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.351	6.372	6.352	6.366	6.371	+0.005
	Future	1Year(p.a.)	6.421	6.399	6.410	6.412	6.406	-0.005
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.418	3.340	3.363	3.397	3.384	-0.013
	USD	1Year(p.a.)	3.540	3.547	3.560	3.600	3.611	+0.011
株式	Bovespa指数	97,393.75	97,861.25	98,588.63	98,311.19	94,635.56	-3,675.63	
CDS	CDS Brazil 5y	165.72	166.14	165.66	163.04	165.95	+2.91	
商品	CRB指数	179.639	180.549	180.610	179.952	180.559	+0.61	

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

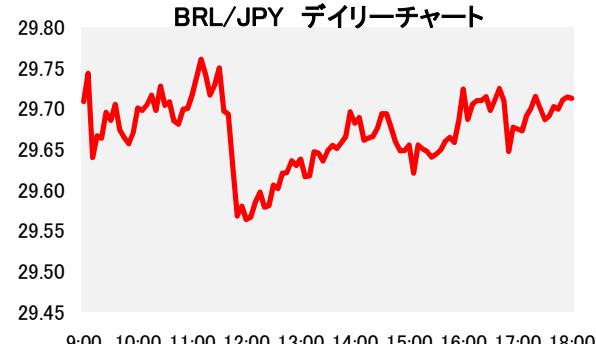
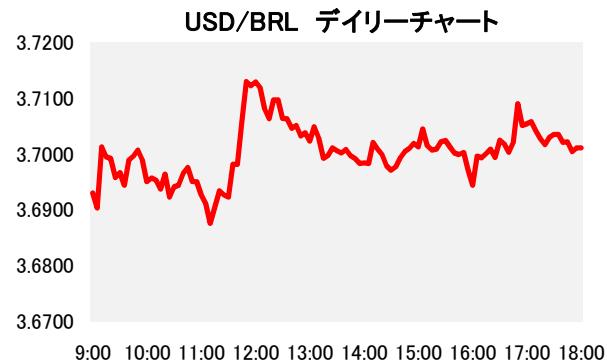
イベント	予想	実績	前回
自動車販売台数	--	199794	234531
自動車生産台数	--	196767	177700
SELICレート	6.5%	6.5%	6.5%
(米)MBA住宅ローン申請指標	--	-2.5%	-3.0%
(米)貿易収支	-\$54.0b	-\$49.3b	-\$55.5b

3. 要人コメント

なし	
----	--

4. トピックス

- 本日のレアルは日中高値3.6700で寄り付いた。PTAXの決定に伴いドル買い需要が散見されると正午過ぎに日中安値3.7150まで上昇。午後にかけては新たな材料に乏しい中で3.70近辺を揉み合い、結局3.7010クローズした。
- ボエスパ指数は軟調推移。連日過去最高値圏を推移していた中で利益確定と思しき動きが見られ、前日比で約3.7%下落する形となった。
- 5-6日に実施されたCOPOMでは予想通り政策金利を6.50%で据え置いた。声明文では、新興国経済の見通しの低迷を受けた国内インフレ率の上昇リスクが、前回の会合以降緩和されたことが示唆された。尚、今回が現総裁ゴールドファイン氏最後の会合となり、次回3月からはカンポス・ネト氏を新総裁として迎え実施される。



9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00
出所:Bloomberg

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。